

ガーナ・ポップスの超新星が再来日!

SANTROFI

サントロフィ ジャパン・ツアー 2026



ハイライフ・ミュージックの
新しい波

特設サイト
(動画あり)



主な予定曲目: Alewa (Black & White)、Africa、Kwaa kwaa、Cocoase、他 ※曲目は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

公演日程 2026年

6月22日(月) 6:30p.m. 苫小牧市民文化ホール グランドホール

6月23日(火) 6:30p.m. カナモトホール(札幌市民ホール)

入場料金: S席 ¥6,500 A席 ¥6,000 (会員料金: S席 ¥5,500 A席 ¥5,000) <税込> [全席指定]

6月25日(木) 6:30p.m. 函館サーモン・まるなまホール 大ホール

入場料金: ¥6,500 (会員料金: ¥5,500) <税込> [全席指定] (函館市民会館)

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

【札幌公演のみ】

●当日、学生専用席(大学生以下¥2,000)を販売いたします。学生証をお持ちください。他ランクとは同席できません。数に限りがありますので、予め、ご了承ください。

お問い合わせ

MIN-ON 苫小牧 ☎0144(32)6080 [苫小牧公演]

MIN-ON 札幌 ☎011(642)5601 [札幌公演]

MIN-ON 函館 ☎0138(56)6922 [函館公演]

チケットのお求めは

チケットぴあ(セブン-イレブン) [Pコード: 320-114]

[札幌] 道新プレイガイド ☎0570(00)3871

主催: MIN-ON

共催: 函館新聞社 [函館公演]

後援: 駐日ガーナ共和国大使館、苫小牧民報社 [苫小牧公演]、FMいるか [函館公演]



Embassy of
Ghana Japan



アフロ・ポップの起点となった「ハイレイフ」を現代に継承する ガーナ発の新世代バンド＝サントロフィが待望の再来日!



ガーナを中心とする西アフリカ諸国で盛んに奏でられ、20世紀以降に発展してきたアフリカにおけるポピュラー音楽の起点ともなったハイレイフ。欧米圏から伝わってきたブラス・バンド音楽やスウィング・ジャズ、カリブソなどのラテン音楽にも影響を受けながら独自のスタイルを確立し、70年代に入るとビッグ・バンド編成から少人数のギター・バンド編成が主流となって同時代のソウルやファンクも吸収しながらよりファンキーに発展を遂げてきたハイレイフですが、その豊かな音楽的遺産を現代に継承するガーナ発の新世代ハイレイフ・グループの筆頭格がサントロフィです。

2020年に初のアルバム『アレイワ』を発表する前から、ヨーロッパ各地の大型野外音楽フェスなどに出演してライブ・バンドとして高い評価を集めてきた彼らは、24年に全国13カ所のホールを巡回した初来日ツアーを実現。多彩なリズムとメロディーの宝庫であるガーナの伝統音楽をしっかりと踏まえつつ、パームワイン音楽やラテン音楽からの影響を色濃く感じさせる古き良きスタイルから、会場全

体をダンサブルに熱狂させるファンク～ディスコ色の強いナンバーの連打まで。高い演奏力と起伏に富んだステージングで、現代アフリカのトップ・バンドとしての力量を痛快に発揮してくれました。

昨年には待望の2ndアルバム『メイキング・ムーヴズ～さあ、立ち上がろう!』を発表。さらなる進化を遂げた新作を手によりパワーアップした境地で圧倒してくれるでしょう。〈音楽評論家 吉本秀純〉



PROFILE

サントロフィは、歴史あるハイレイフをガーナの若い世代に伝えるとともに、世界に発信することを使命とし、結成。ガーナの首都アクラを拠点に、西アフリカ音楽の大きな屋台骨のひとつであるハイレイフや、そこから発展したアフロビートをさらに現代化させたサウンドが魅力の大所帯若手グループです。